

第4学年C組 社会科学学習指導案

授業者 鈴木 聡
研究協力者 外池 智, 加納 隆徳

1 単元名 秋田県の様子を調べ、特色を考えよう ～秋田県の広がり～

2 子どもと単元

(1) 子どもについて

3年生で学習した前単元「調べてくらべよう、わたしたちの秋田市」では、市の地形や土地利用の様子、交通の様子などについて資料を活用して調べた。また、土地利用の様子が場所によって違うことを、地形や交通の様子と関連付けて考え、社会的事象の特色や事象間の相互の関連について考える活動を積み重ねてきている。

本単元に関する事前アンケートを行ったところ、県全体の地形や土地利用について、名称や位置、広がりや分布を各資料から読み取り、県全体の地形や土地利用の様子を理解している子どもが多く見られた。また、秋田県の主な産業が農業であることや主な農産物の一つが米であることを理解していた。

一方で、県内のどこでどのような産業が盛んであるのか、地形条件や社会的条件と関連付けて考えるまでには至っておらず、社会的事象の特色について、複数の視点を比較・関連付けして考える力が十分とは言えない。

(2) 単元について

本単元は、地図や統計などの各種資料を活用して県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などを調べ、県の地理的環境の特色を考えることを通して、その概要を理解することをねらいとしている。さらに、県の地理的環境の特色について考えることを通して、県内の人々が地形条件や社会的条件を社会生活に活かしていることを理解することが期待できる単元でもある。

また、地形・主な産業・交通網の視点を基に、県の地理的環境の特色について比較・関連付け・総合して考えるために、1つの資料から読み取るだけでなく、地図同士の比較や地図と統計の比較など、複数の資料を関連付けて読み取る必要が生じる。単元の中で地理的環境の特色を考えるために、複数の資料を関連付けて読み取る「見方・考え方」を繰り返し働かせることを通して、複数の視点を比較・関連付けして考える力を高めることが期待できる。

これらのことを踏まえ、**県の様子をとらえ、地理的環境の特色を考え表現するという資質・能力**を高めることを目指す。県の地理的環境の特色という概念的な知識を獲得していく子どもの姿を期待して、本単元を設定した。

(3) 指導について

本校社会科部の研究の重点(1)との関連から本単元における社会的事象の認識の段階を次のように整理する。①事実認識の段階：県の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置を理解する段階、②関係認識の段階：交通網の広がりや主な産業の分布を地形条件や社会的条件と関連付けて考える段階、③意味認識の段階：県の地理的環境の特色を地形・主な産業・交通網の視点を関連付けたり総合したりして考える段階とし、それらを単元において、順に配列する。

研究の重点(2)との関連から、本単元で育みたい資質・能力を高めるために、**地理的位置や広がり、分布、地形条件、社会的条件などに着目し、地理的環境の特色について複数の視点を比較・関連付け・総合して考えるという「見方・考え方」**を働かせた学習活動を単元を通して位置付ける。

地形条件や社会的条件に着目して考えることができるように、地形や主な産業の分布、交通網の広がりを調べ、地形・主な産業・交通網の複数の視点を比較・関連付けして考える活動を単元に効果的に位置付ける。主な産業としては、農業・漁業・工業を取り上げる。主な産業の分布と地形や土地利用、交通網の広がり、人口などを比較し、その関連を考えることを通して、主な産業の分布が地形条件や社会的条件とかがわりがあることを理解することができるようにする。

単元終末では、県の地理的環境の特色について、それまで学んだ情報を総合して考えることができるように、県の地理的環境の特色を考え、秋田県PRマップにまとめる活動を設定する。このことにより、単元を通して学んできた自分の考えを再構築し、県の地理的環境の特色を見いだすことができるようにする。

3 単元の目標〈記号は本校の資質・能力表による〉

(1) 県の位置や地形、主な産業、交通網の様子、主な都市の位置などの地理的環境の概要を理解することができる。また、県の地理的環境について地図や統計などの各種資料を活用し調べ、白地図などにまとめることができる。 〈I-8・15〉

(2) 県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などの情報を総合して県の地理的環境の特色を考え、説明することができる。 〈I-8・15〉

(3) 県の様子に関心をもち、意欲的に資料を活用して調べたり県の地理的環境の特色を考えたりし、追究しようとしている。 〈7-5・7〉

4 単元の構想（総時数10時間）※「見方・考え方」を働かせた学習活動

調べてくらべよう、わたしたちの秋田市（3年）

◎本単元で育む主な資質・能力
 県の様子をとらえ、地理的環境の特色を考え表現する（イ-8）

時間	学習活動 （・は予想される子どもの姿）	教師の主な支援	評価（本校の資質・能力との関連）
1	(1) 県の様子について知っていることを紹介し合い、学習問題を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> 県の様子への見通しをもつことができるように、市の様子を考える際に着目した視点を確かめたり、県の様子に関する情報を交流したりする場を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 地形、交通網、産業の視点を基に、県の様子にすすんで交流している。（ア-5・7）
秋田県にはどんな特色があるのだろうか。秋田県PRマップを作って特色を伝えよう。			
2	(2) 県内の主な都市の人口を調べる。	<ul style="list-style-type: none"> 県内の主な都市の位置や人口を確かめることができるように、市町村の境界を示した白地図に、人口の分布を整理する活動を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料から県内の主な都市の人口を読み取り、白地図にまとめている。（イ-8・15）
3	(3) 県内の地形について調べる。 ・雄物川や米代川は、東から西へ、盆地と平野を通して日本海に流れている。	<ul style="list-style-type: none"> 主な山地や平地、河川の広がりで見られる特色を考えることができるように、主な河川がどこを流れているのか話し合う場を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料から県の地形を読み取り、白地図にまとめている。（イ-8・15）
4	(4) 県内の交通網の広がりについて調べる。 ・人口の多い市が高速道路や鉄道で結ばれている。	<ul style="list-style-type: none"> 交通網の広がりや地形や人口を関連付けて考えることができるように、主要な道路や鉄道は県内をどのように結んでいるのか話し合う場を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 県内を通る高速道路や鉄道など交通網の広がりや様子を理解している。（イ-8・15）
5 6 7 8	(5) 県内の土地利用の様子や主な産業の分布について調べ、特色を考える。 ・農業が盛んな市町村は、平野や盆地に位置している。 ・工業が盛んな市町村は、高速道路や空港、港などが近くにあり、交通の便がよい。	<ul style="list-style-type: none"> 市街地、田・畑、果樹園、森林がどのような場所に分布しているかを考えることができるように、地形図と土地利用図を比較する活動を設ける。 主な産業の盛んな地域の分布を地形条件や社会的条件をもとに考えることができるように、市町村別の統計資料を提示し、分布の共通点や相違点を話し合う場を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 県内の主な産業の分布の特色を、地形条件や社会的条件と関連付けて考えている。（イ-8・15）
9 本時	(6) 県の地理的環境の特色を考える。 ・秋田県では、平野や盆地、海沿いなど地形を生かした産業が行われている。	<ul style="list-style-type: none"> 地形・交通・産業の複数の視点を関連付けたり総合したりして県の地理的環境の特色を考えることができるように、県の特色を表すためのキーワードを話し合う場を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 地形、産業、交通網の視点を総合したりして、県の地理的環境の特色を考えている。（イ-8・15）
10	(7) 県の地理的環境の特色を秋田県PRマップにまとめる。 ・横手市や大仙市など南の地域では、地形を生かした農業が盛んだ。	<ul style="list-style-type: none"> 地形、交通網、主要な産業に着目して見いだした特色をもとに、県内を地図に区分してまとめる活動を設定することにより、単元を通して学んできた自分の考えを再構築することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 県の地理的環境の特色を、秋田県PRマップに適切に表現している。（イ-8・15）

「○本単元の学習活動で働かせる主な「見方・考え方」」
 地理的位置や広がり、分布、地形条件、社会的条件などに着目し、地理的環境の特色について複数の視点を比較・関連付け・総合して考え

秋田県の様子を調べ、特色を考えよう ～自然や伝統を生かして～

5 本時の実際 (9/10)

(1) ねらい 県の地形・交通網・主な産業に着目し、それらの中から複数の視点を関連付けたり総合したりして考えることを通して、県の地理的環境の特色を説明することができる。 (イ-8・15)

(2) 展開

時間	学習活動 (・は予想される子どもの姿)	教師の支援 評価
5分	<p>① 前時までの学習をふり返り、本時の学習問題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで県内の地形や交通、産業を学んできたけれど、それらをつなげて秋田県の特色をPRしたい。 <p>学習課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どんなキーワードを中心に、秋田県の特色をPRすればよいだろうか。秋田県の地形・交通・産業をつなげて考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 県の地形の位置や広がり、交通網の広がり、主な産業の分布などを想起することができるように、これまでの学習で活用した地図や統計を掲示しておく。 見通しをもって県の地理的環境の特色を考えることができるように、これまで着目した視点を問いかけ、それぞれどのような特色があったか引き出す。
33分	<p>② 県の地理的環境の特色を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> キーワードは交通。地形や人口とつながる。秋田県の高速度路や鉄道などの交通は、平野や盆地にある人口の多い市を結んでいる。 キーワードは産業。地形や交通とつながる。地形を生かして盆地では米作りや果樹栽培などの農業、海沿いでは漁業が行われている。 キーワードは平野と盆地。交通とも産業とも関係がある。平野や盆地には人口の多い市があり、交通の便がよい。農業も工業も盛んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 地形・交通・産業の複数の視点を関連付けたり総合したりして県の地理的環境の特色を考えることができるように、県の特色を表すためのキーワードを話し合う場を設ける。また、思考を可視化することができるように、イメージマップの形式でキーワードや関連する言葉を表すよう助言する。 県の地理的環境の特色について視野を広げることができるように、個で考えた後にグループや全体で考えを交流する活動を取り入れる。その際、どの資料を根拠にして考えたのか明確にするようながす。 紹介された考えがどのように関連付けて考えられたのか問い直すことにより、地形・交通・産業の視点を総合して考えることへの方向付けを図る。
7分	<p>③ 県の地理的環境の特色について、キーワードを使って自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 秋田県では、平野や盆地、海沿いなど地形を生かした産業が行われている。高速度路や鉄道も広がりも地形と関係があり、農産物や工業製品を運ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 県の地理的環境の特色について地形・交通網・主な産業の視点を総合して考えることができるように、話し合っただけ見いだしたキーワードをもとに、自分の考えを表現する活動を取り入れる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地形、交通網、主な産業が相互に関連していることに気付き、交通網が地形、人口の分布、産業とかわりがあることや、主な産業が地形、交通網などとかかわりがあることを自分なりの言葉でノートにまとめている。 (イ-8・15) (ノート・発言)</p> </div>